

卒業生によるボランティア活動
グループ

2000年 5月

第10号

“わ”情報ぎやらりー

TEL(078)743-8101

FAX(078)743-8103

神戸市シルバーカレッジ 社会還元センター

グループ“わ”情報誌編集部

あれから2年 “変わったなあ…”

中央区地区委員 原田 資 三

福祉問題に特別な関心もなく、ボランティアへの参加などを考えたことも無かった2年前のわたしは、1期生の方々からのグループ“わ”への熱心な呼び掛けに『ボランティア活動なんて、今さら…』と耳も傾けず、無関心派の一人でした。

それが卒業をまじかに控えて『卒業後も学校や仲間たちとの関わりを続けたい』と〔KSC 社会還元センター〕設立の主旨も十分に承知しないまま、しかも活かせる特技・趣味も持た無いことから、裏方の仕事にでも「調査研究部会（くらしの環境調査部会）」登録し、まさしく名前だけのメンバーとなりました。

その後、グループ“わ”に対する外部からの要望は地域密着型のものが増え、一昨年の9月からは各区（地域）ごとの活動も組み込むことになった。中央区在住のメンバーが声を掛け合い、「福祉部会」の方々の応援も得て活動をスタートしている。(1)中央区ボランティアセンターからの紹介されたもの。(2)直接依頼の老人保険施設・

特別養護老人ホームでの活動。(3)一人暮らしの身障者の方への活動。と、最初は慣れないままに余裕のない対応だったが、回を重ねるごとにお互いの顔も覚え気軽に会話を交わし、楽しくふれあうことができるようになって、今では表舞台でボランティアを一步一步実践中です！

施設を訪問するたびに・障害のある人と会うたびに、自分が健康であり、「助け合い」や「思いやり」の心を膨らますことができるのを”有難い”と感謝しています。お年寄りや障害者の方たちが「絵画」「書道」「歌唱」にと、リハビリを兼ね一生懸命に取り組んでおられる姿に感動。チョットしたことにも”ありがとう”と感謝の言葉が返ってくるのに感激。まだまだ人生の先輩に教わることの多さに気付く。いまは「他のため」よりも「己のため」に、ボランティア活動をやって良かったと喜んでおり、最近の私の変身ぶりに旧知の友や家族は驚異の目をみはり、私自身も“変わったなあ……”とニンマリする昨今です。

あれから2年 “変わったなあ…” … 1	「なつメロを唄うつどい」に参加して … 5
第9回運営委員会 だより … 2	現代傀儡師物語 … 6
第10回運営委員会 だより … 3	ハイ!!事務局です … 7
地区からの呼び掛け（中央区） … 4	“わ”情報誌編集部からのお知らせ … 8

【運営委員会だより】

●平成11年度第9回運営委員会

2月25日 LL準備室

1. 部会の活動

1)生活文化部会(AB部)

助成金を申請した。

特養・老健・村施設・保養センター・福祉センター等で、①指導(詩吟・歌唱・習字・造花・生花・折紙・健康など)②歌・演奏(歌唱・三味線など)③煎茶サービスなど、延べ19日46名活動。

2. 地区の活動

1)東灘

①特養への送迎・買物介助、②有馬ボランティアガイド等。

2)中央

ボランティア助成金2万円の交付を受けた。
特養・老健・個人等で①指導(歌唱・絵画・書道)②介助支援(買物・医療受取り・料理教室・入浴後身辺ケア(からの応援を含む))など延べ35日30名活動。

3)兵庫

特養・病院等で、①入浴後身辺ケア、②書道指導、③レクレーション、などの活動。
★入浴後身辺ケア要員不足、要応援。

4)長田

長田区雪まつり、子供の安全確保の指導。

5)須磨

ボランティア助成金2万円の交付を受けた。
特養・デイサービス・村施設・SC木工室、等の施設で、①習字指導、②送迎ボランティア、③入浴後身辺ケア、④木工作业、⑤有馬ボランティアガイド、⑥身障者の将棋相手、など延べ29日31名活動。

6)垂水

①舞子ボランティアガイドに延べ18日126名、1895件②美緑花清掃に延べ2日25名、③障害幼児散歩ボランティアに延べ16日64名活動。

7)西

ボランティア活動助成金を申請した。

特養・のぞみの家・盲学校・ワークハウス・村の施設、等で①指導:園芸・陶芸・詩吟、②廃材の木取り作業・SC入試手伝い・有馬ボランティアガイド・物語テープ提供・煎茶サービスなど、延べ17日17名活動。

8)北

有馬ボランティアガイドに延べ12日27名(賑からの応援を含む)。

3. イベント計画

1)H12年度は内部結束を目的とし、なるべく経費節約の方針で、ニュースポーツ等の実施を考えたい。

2)H13年度は「しあわせの村」の動きに同調したい。

4. 財政問題

1)H12年度市・区社協震災復興ボランティア活動助成金(1歳50万円)申請4月14日まで

2)区社協への申請は従来どおり実績認定形であり2万円程度である。地区別に申請するか、上記のような50万円規模を“わ”が一括申請し、これを配分するか、を再検討する。

5. ボランティア災害共済保険

地区ボランティアセンターで加入している場合もあり、全員必要かを再調査する。

6. その他

1)3月1日に4期生に卒業アルバムを販売。その際“わ”への加入申込を確認。

2)SCボランティアセンターとの連携を密にするため本日の運営委員会に同センターの久保代表と新木氏がオブザーバーとして出席。なお5月17日の大会共催を確認。

3)総会において通信費徴収を諮りたい旨の提案がなされたが、異論多いため再検討。

●平成11年度第10回運営委員会

3月24日 第1教室

☆SC事務局の前田課長から退職のご挨拶があった。

1. 部会の活動

1)生活文化部会(AB部会)

特養・老健・村施設等で延べ16日55名活動。

- ①指導(詩吟・歌唱・習字・生花等)
- ②歌・演奏(三味線・ナツメロなど)
- ③サービス(煎茶・茶道など)

2)福祉部会(G部会)

①カーボラ(G1)(村施設・のぼら学園・みのたに園への送迎)3名が延べ19日活動。

2. 地区の活動

1)東灘

①特養への送迎・買物介助など4名活動②有馬ボラガイドに参加。

2)中央

特養・老健・個人等で延べ7日30名活動。

- ①指導(歌唱・絵画・書道)、②介助・手伝い(買物・医薬受取り・料理教室・入浴後ケア身辺(ぬがりの服を脱ぎ))、③慰問(マジック・人形劇など)

3)兵庫

特養・病院・老健・保育所等の施設で延べ14日41名活動。

- ①習字指導②農耕作業③入浴後のケア④給食手伝い・保育所への送迎 等。

4)須磨

特養・デイサービス・SC木工室 等の施設で延べ39日39名活動。

- ①習字指導②カーボラ送迎③入浴後身辺ケア④木工作业④有馬ガイド 等。

5)垂水

- ①舞子ボラガイド:延べ8日54名1301件②美緑花清掃:延べ2日10名③障害幼児散歩ボラ:延べ8日16名。

6)西

(前回と同様の活動)

7)北

有馬ボラガイド:延べ14日28名(他区からの応援を含む)。

3. 第2回定期総会の準備

2)今回、規約改正はない。

3)議案書原案作成 4月末予定。

4)会員、来賓への案内状発送 4月中旬。

5)“わ”活動展示パネル作成 5月上旬、昨年のを流用可。

6)壇上の一文字・式次第等の作成 5月上旬。

7)総会2部ではNHKの健康体操。

8)体験発表はボラ活動についてAB部会・G部会・中央区・須磨区または垂水区から各1名、各10分間程度を予定。

4. 予定業務

4月20日入学式後に新入生の記念撮影を“わ”が担当。

5. 財務関係

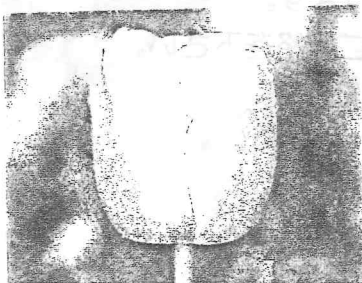
1)しあわせの村から次年度助成金50万円支給が決定した。(昨年度は70万円であった)

2)震災復興ボランティア活動助成金の申請は“わ”本部で一括申請する。

6. その他

新入生に対する“わ”の説明をホームルームの時間に行う。

【ボランティア活動への誘い】



★関空一帯を対岸に、西南方向に大橋と淡路花博の東浦を望む須磨海岸での清掃に！…そして深呼吸しませんか！

日時	H12.7.8(月)	小雨実施
集合	須磨港1 シーバルロビー	AM8:30
作業	AM8:45~10:00	
持物	ごみ挟み・手袋・ポリ袋	
連絡先	“わ”事務局	☎ 743-8101
	梅谷 正芳	☎ 731-1326

地区からの呼び掛け!

中央区地区委員 原田 資三

【中央区の現状】

- 1) メンバーは ①KSC 卒業生 (I~IV期生)
②グループ “わ” 登録者
- 2) 活動対象は ①老健 “こうべ” 「絵画の指導」「書道の指導」
②特養 “真愛ホーム” 「入浴後のケア」「話相手」「外出介後」「歌唱の指導」
③特養 “ケアポート神戸” 「買い物介助」「料理教室の助手」
④一人住まいで身体障害者の人
「代理で病院に投薬を取り」

※〔老健〕：老人保健施設 〔特養〕：特別養護老人ホーム

- 3)以上の他に 特養 “ケアポート神戸”から「ホーム喫茶」「絵画指導の手伝い」「書道指導の手伝い」「少し遠出の外出介助」など、依頼が来ている。人手不足で下應じられず今のところ保留となっている。

中央区内は KSC 卒業生が少なく、したがってグループ “わ”の登録メンバーは 13 名に過ぎず、その中でも都合や事情があって実際に活動しているのは極限られた人数で、特養“真愛ホーム”での活動は北区・兵庫区在住の「福祉部会」の方をお願いして担当していただいている状態です。

本区は施設での活動が多く、しかも継続的な内容で人数を必要とし、近在のマンパワーをどうやって確保するかが問題で、今後とも活動を進めて行くにあたって地元・近隣区でメンバーを急ぎ増やすことが大きな課題となっています。

〔部会〕に所属して活動するには特技・体験が必要とします。が、〔地域〕での活動は必ずしも過去のボランティア経験や特技・体験が無くても、元気で助け合い支え合おう…の気持ちがあれば、誰にでも幾らでもできるものがあります。私たちは一人でも多くの仲間を必要としています。

つきましては、みなさんにはご都合も・ご事情もあるかと思いますが、月に 1~2 回、1~2 時間程度、高齢者や障害者の施設でのボランティアに手を貸していただけませんか。

なにかを社会に還元できれば・僅かでも社会福祉の役に立てれば…と、スタートしたこの地域活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご協力をいただけます場合はお手数ですが、下記までご連絡を下さい。

連絡先：Tel 743-8001 グループ “わ”事務局

または：Tel 302-1190 原田 資三 まで



「なつメロを唄うつどい」に参加して

野間 健三(二期生)

AB部会長の藤原さんより特別養護老人ホーム『ロングステージ灘』でなつメロを唄う集いをやってみようと薦められ、平成11年5月より始め、毎月1回第2金曜日に訪問しています。

対象は主に70~80歳代の方で、午後のおやつが終わった3時前後の約1時間で、20人ほどの方が集まってくれます。

曲目は“東京ラブソデイ” “旅の夜風” “誰か故郷を想わざる” “湖畔の宿” “リンゴの歌” “憧れのハワイ航路” “南国土佐を後にして” “いつでも夢を”

“高校三年生” “お座敷小唄” “青い山脈” など昭和十年から四十年頃までの歌集を作り、それから5~6曲を選んで各曲を2回づつ繰り返しCDに合わせて唄っています。

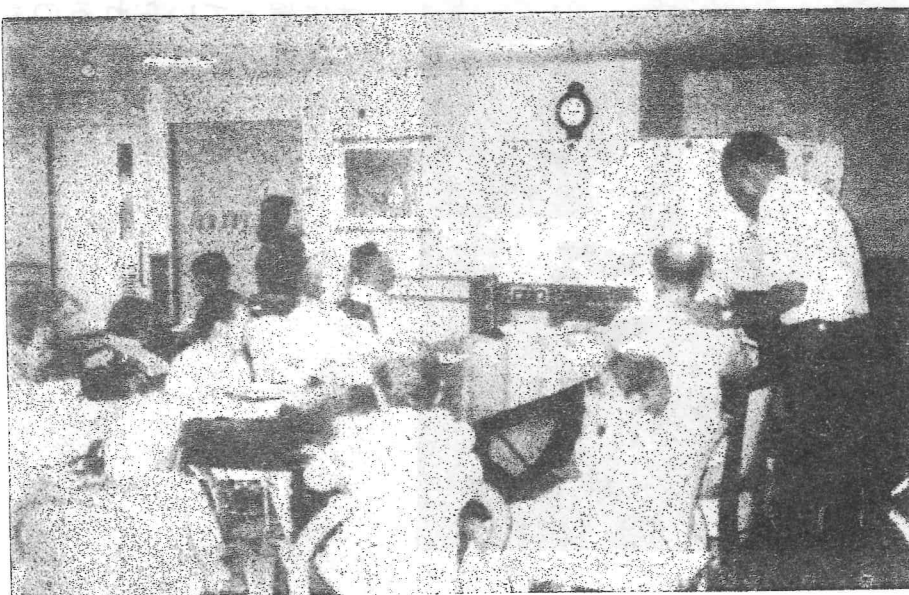
はじめは歌詞を前に張り出して唄っていましたが、場所により見えにくい欠点があり今はそれぞれに歌集を見てもらいながら行っています。ときには手話の童謡を加えたり、簡単な楽器を使ってもらったり、手を叩きながらながら唄ったり



と色々と試みながら行っています。そして一人でも多くの方に声を出して唄ってもらえるよう心掛け、ワンコーラスづつ一人一人と顔を並べて肩をたたきながら一緒に唄います。少しずつ声を出して歌ってくれる人が増えてくるのが楽しみで、音楽の持つ人の気持ちを盛り上げてくれる力を感じます。耳元で肩を叩きながら懐かしい歌と一緒に唄っていると、幼い頃自分が父母より受けたものをお返し出来ているような気持ちになります。

「これも知っとる歌や」と言いながら一生懸命に唄っている姿に接し良かったなど私も喜びをもらいながら続けております。今はカラオケクラブの人と一緒に訪問をしています。歌の好きな人はどなたでも気軽に参加して下さい。

ご一緒に楽しみながらやってみましょう。



現代傀儡師物語

人形劇 [ほたる座]

代表 胤 舛 武 宏

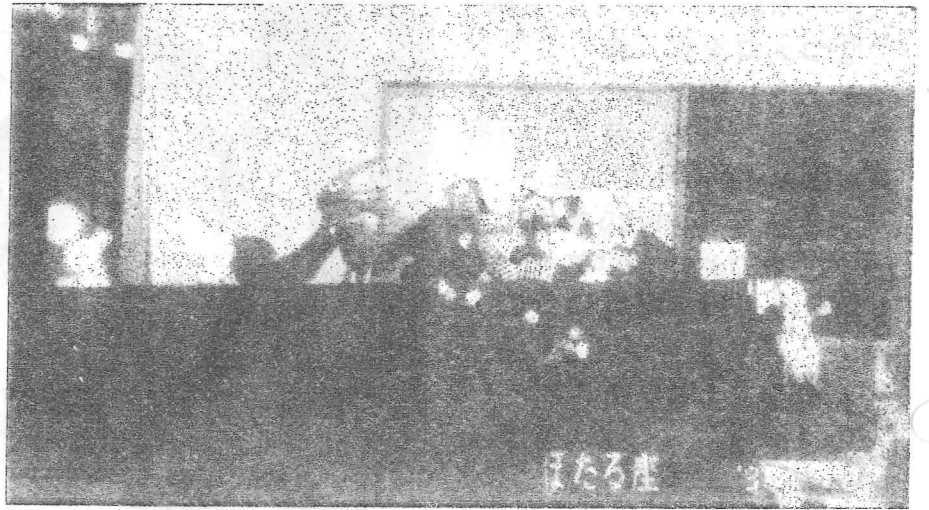
私達[ほたる座]は相も変わらず傀儡師巡業をつづけているが、世の中は随分変わってきたもんだ。

西では知事がセクハラで、女性と交代。北では警察の不祥事が発覚しキャリアが詰腹を切られ。東では手心発言で政治屋大臣の首が飛ぶ。

流石のノストラダムスもモラルの崩壊までは予言出来なかったのか、しなかったのか。

庶民には住み難い世の中になったものだ。せめて、東の知事さんの外形標準課税に拍手を贈ろう。

ところで、人形劇を取り巻く環境も変わったものだ。近頃は嬉しいことに見世物ではなく、小学校の校外実習とやらでお座敷がよくかかる。校長さん曰く、最近の子供達はテレビゲームやパソコンに熱中し映像とのみ会話して、偏った知識を身に付けて子供らしさを失っている。直接人形の所作を見ることが情操教育を



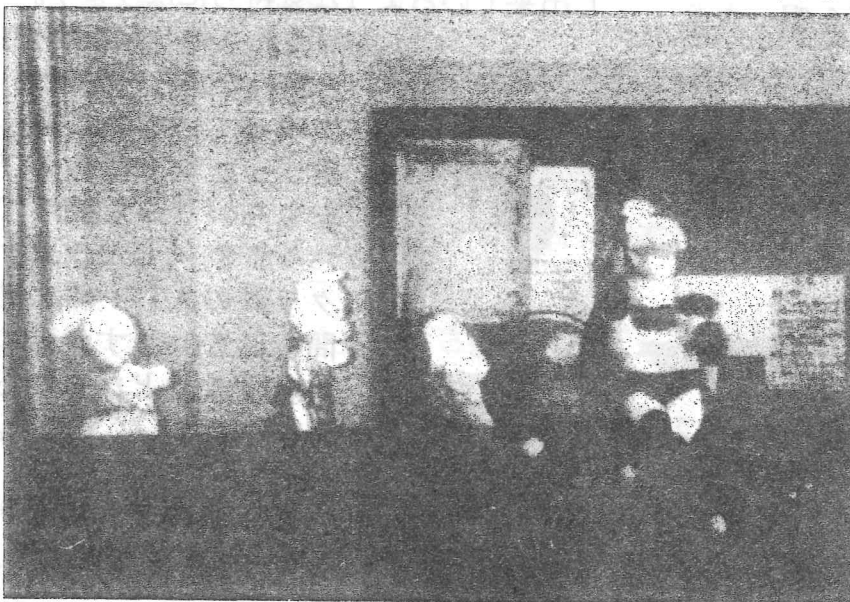
育て、子供らしさを取り戻す切っ掛けになると理由を聞けば、傀儡師稼業も満更ではない。

喜び勇んで老骨に鞭打ち公演する始末、他愛のないもんだ。

この稼業で一番楽しいのは、子供達との交流だ。昔の暮らしの話をせがまれて、貧しいけれど心も自然も豊かであった子供の頃の話をするれば、驚かれたり、感心されたり。

私達は、傀儡師冥利に尽きる至福の楽しい一刻を過ごすことができる。

○いつまでも元気に門付けに廻ってられるのも、子供達の笑顔と拍手に支えられているからでしょう。又、どこかでお会いしましょう。



ハイ!! 事務局です

駐車料金カードのスタンプ印について(お願い)

当日、シルバーカレッジ内、またはしあわせの村で、実際にボランティア活動をした方のみ、カレッジ1階事務局カウンターに備え付けの、オレンジ色ノートに記入してから、カレッジ事務局に申し出て下さい。

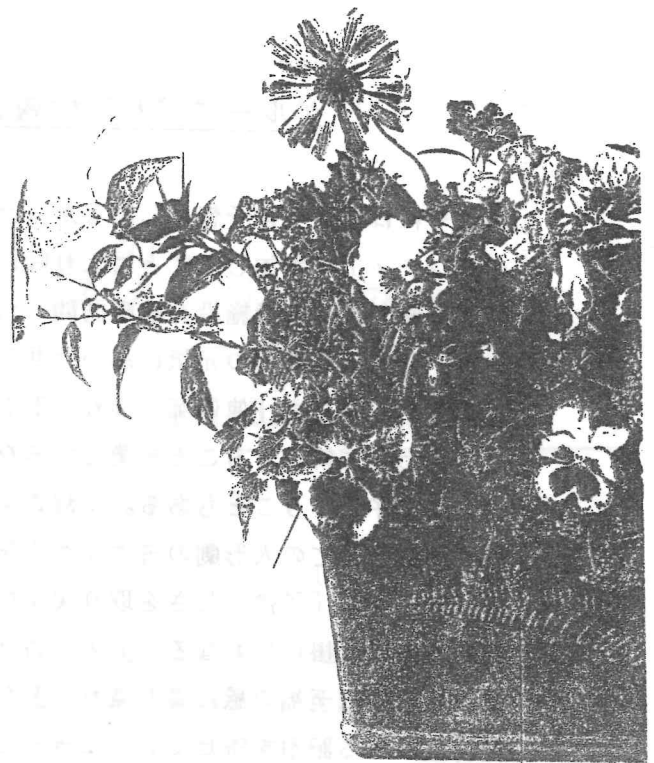
平成11年度、ご寄付下さった方達

ほんとうにありがとうございました。

- シルバーカレッジ学園祭実行委員会
- 園芸コース合同交流会
- 福祉コース合同交流会
- 生環3年交流会
- AV機器操作チーム代表柳内
- 故、下山昭一(生環1年)
- シルバーカレッジ前田課長
- 山林知左子
- "わ" 会員有志

【お知らせ】

- ◆しあわせの村まつりに“わ”が参加します!!
 - ◆平成12年度グループ“わ”で、ニュースポーツイベントの計画中。
 - ◆講習会を実施します。
介助ボランティア活動に必要な、介助3級程度の知識・技能を習得。
- 場所：シルバーカレッジ内
時期：カレッジ夏期休講期間
対象：“わ”会員及びカレッジ在生
- ◆“わ”『福田川の川辺を歩こう』冊子若干部を「垂水・高丸・福田・名谷」各小学校に5月11日寄贈した。



~~ しあわせの村 ~~

神戸市シルバーカレッジ 夏期公開講座
聴講生募集

この夏、神戸市シルバーカレッジに

“サンデー北治”

がやってきます!

公開講座でお会いしませんか?

テーマ ~ 生きる ~

第1回 7月20日(祝木) 野球評論家 村田北治氏

「わがプロ野球人生」

第2回 7月24日(月) 神戸大学教授 山口泰雄氏

「今日から始める健康づくりと

スポーツライフ」

第3回 7月27日(木) 神戸市シルバーカレッジ学長 今井顕雄氏

「21世紀に生きる私たちの役割」

主 催：神戸市シルバーカレッジ

場 所：神戸市北区しあわせの村内 神戸市シルバーカレッジ

1階 カレッジホール 10:30

聴講料：1,000円(3回通して)(1回ごとの申し込み不可)

申込先：〒651-1102 神戸市北区山田町下谷上中一里山14-1 しあわせの村内
神戸市シルバーカレッジ事務局教務係

申込方法：7月3日(月)午前9:30 まで電話にて申込 先着450名

電話 078(743)8100

グループ“わ”情報誌編集部からのお知らせ

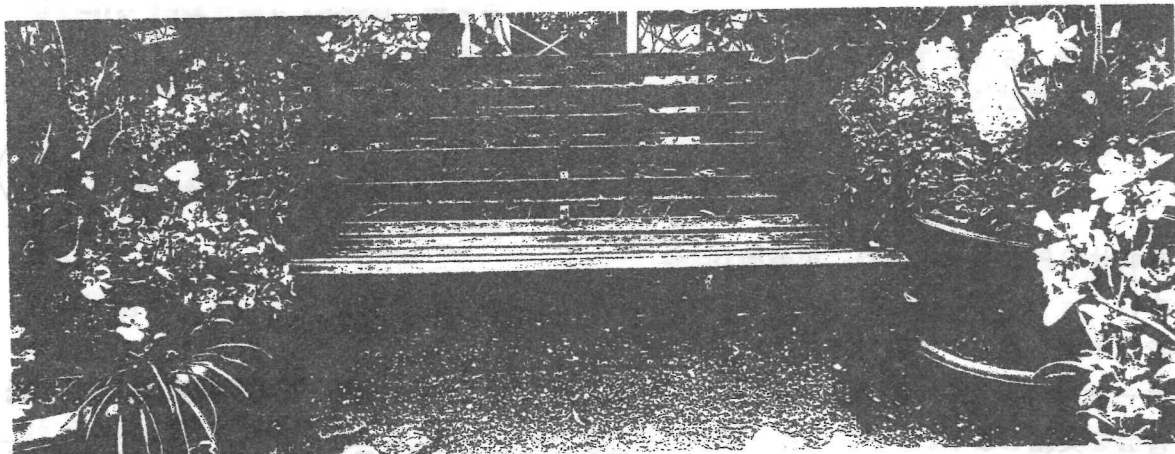
◆本号には、『当初予想もし得なかったボランティアに参加したことにより味わった感激』、『特養施設を歌唱訪問したとき、入居の高齢者の元気に沸いた共唱と喜び』、そして『傀儡師（操り人形を歌に合わせて舞わせることを業とするひと。傀儡子ということもある。：辞書より）巡業としての人形劇の皆さんが小学校長さんから「子供らしさを取り戻す情操教育の切っ掛けにもなる…」と、寄せられた期待に至福の感に満ち溢れた』など特徴のある記事を寄せていただきました。

◆引き続き他部会および他地区のグループ活動のご寄稿をお待ちしています。

◆情報誌には活動に関する事務局および部会や地区からの呼び掛けなどを掲載しており、発行いたしましたも何らかの機会に登校された方には配布できますが、登校の機会のない方への配布が困難です。運営委員会にご出席の地区委員の方に地区会員の分をお持ち帰りいただき、それぞれの地区でご面倒ながら分担配布の労をお願いできれば有り難いことです。

ほかに、良い方法があればご提案ください。

◆【運営委員会だより】は発行日の関係上、時期が大きくずれるきらいがありますがご了承ください。



編集後記

★GWは好天気続きに恵まれ、良き行楽の日々を満喫されたことでしょう。
★端午の節句、武者人形に柏餅やちまきを供えて祝った、過ぎし遠い昔の思いも懐しく、5月5日は立夏。お天気さまも待ち兼ねたように、このところ夏日の訪れ。★つつじ咲き乱れる小坂道、ヤット覚えたのか、緑に裾す鶯の歌声、初夏のそよ吹く風もさわやかに。シルバー坂も健やかに…！ ★“わ”も3年目を迎え、いよいよ5月17日に第2回定期総会。3期生および4期生が主体の新役員による新しい活動施策が期待されます。★今年は内輪で楽しいスポーツイベントや講習会などの計画があります。いきいき元気で……！